

令和8年度「一般入学者選抜」
学力検査 英語科 出題方針

- 1 学習指導要領に基づき、英語の基礎的・基本的な知識及び技能と、英語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、理解したり表現したりする力を全領域にわたり身に付けているかを確認することができるようにする。
- 2 「聞くこと」の領域では、音声を通して、対話文やまとまりのある文章から話し手の意向や大切な事柄を聞き取り、適切に判断して答える力をみることができるようになる。
- 3 「読むこと」の領域では、日常的、社会的な話題に関する文章や図表、イラスト等から、必要な情報、概要や要点を読み取り、適切に答える力や、読み取った情報を基に思考し、判断する力をみることができるようになる。
- 4 「話すこと[やり取り]」及び「話すこと[発表]」と「書くこと」の領域では、日常的、社会的な話題について、基本的な語句や文を用いて話したり伝え合ったりする力及び自分の考えなどを英語でまとめ、適切に書く力をみることができるようになる。

令和8年度本検査「英語」学力検査について

1 問題構成

大問1から9までで、大問数は昨年度の本検査と同じである。それぞれの内容は次のとおりである。

大問1、2、3及び4	: リスニングテスト	(31点)
大問5	: 文法及び文構造	(9点)
大問6	: 英作文	(12点)
大問7及び8	: 英文読解	(36点)
大問9	: 対話文の読解	(12点)

2 領域及び分野

英語を「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと[やり取り]」、「話すこと[発表]」、「書くこと」の五つの領域を統合した言語活動で育成した総合的な力をみることができるようにした。どの大問にも、複数の領域が関係しているが、各領域と問題との対応は、概ね次のとおりである。

「聞くこと」及び「話すこと[やり取り]」	: 大問1、2、3、4	(31点)
「読むこと」、「話すこと[やり取り]・[発表]」	: 大問7、8、9	(48点)
「書くこと」	: 大問5、6	(21点)

3 出題内容及び予想平均点

学習指導要領の趣旨に沿って、基礎的・基本的な[知識及び技能]及び[思考力・判断力・表現力等]をみることができるようにした。

大問4(リスニングテスト)は、英語の文章を聞き、その要点を捉えることができるかをみる問題となっている。

大問5は、文構造や文法事項を正しく用いて正しい語順で文を構成することができるかをみる問題となっている。

大問6は、英作文問題で、与えられた条件のもとで、自分の考えとその理由・説明を英語で適切に表現する問題であり、実践的なコミュニケーションを意識した問題となっている。

大問7及び大問8は、英文から必要な情報を正しく読み取り、内容を理解したうえで「思考・判断」する問題となっている。

予想平均点は50点～55点で、昨年度の本検査(平均47.1点)より高くなると考えている。

(問合せ先) 千葉県総合教育センター学力調査部
電話 043-212-7588